

緑化容積率算定表

自然的要素の種類	単位	係数	申請地数量	緑化容積	備考(樹種等)
高さ10m以上になる樹木	本	16		0	表2 1群高木類参照
高さ10m程度になる樹木	本	10		0	表2 2群高木類参照
高さ2～3m程度になる樹木	本	3		0	表2 3群低木類参照
高さ2m以下になる樹木	本	1		0	表2 4群低木類参照
ツタ類	m	3		0	1mに1株を基本とする植栽延長
芝生,家庭菜園または地被植物や植生回復	m ²	1		0	母屋(m ²)と駐車場(m ²)を除く面積
高さ10cm以上に成長する花や野菜	m ²	1		0	
池その他これに類するもの	m ²	1		0	
申請地緑化容積				0 m ²	
敷地面積					m ²
建築面積					m ²
緑化容積率					%

表1 緑化容積系数表

自然的要素の種類	単位	係数(植栽後5年での概ねの大きさを基準とした係数)				
		平面値(m ²)	容積値	係数算出式(円錐)及び結果		採用係数
		A	B			
高さ10m以上になる樹木	本	12	4	A×B×1/3	15.99984	16
高さ10m程度になる樹木	本	7.5	4	A×B×1/3	9.99990	10
高さ2～3m程度になる樹木	本	3	3	A×B×1/3	2.99997	3
高さ2m以下になる樹木	本	1	1.5	A×B×1/3	0.50000	1
ツタ類	m	1	3	A×B	3.00000	3
芝生、家庭菜園または地被植物や植生回復	m ²	1	面積をそのまま採用		1.00000	1
高さ10cm以上に成長する花や野菜	m ²	1	面積をそのまま採用		1.00000	1
池その他これに類するもの	m ²	1	面積をそのまま採用		1.00000	1

表2 御大師山に自生する樹木・植物の種類

区分	将来的な高さ	御大師山に自生する種類
1群 高木類 成長速度が遅く、高木層を形成する樹種群	将来的に 概ね10m以上	ベニイタヤ、ハウチワカエデ、エゾイタヤ、ヤマモミジ、ホオノキ、キタコブシ、サウシバ、アサダ、ミズナラ、クリ、コナラ、ハリギリ、コシアブラ、シナノキ、オオバボダイジュ、ハルニレ、オヒョウ、ハクウンボク、オニグルミ、カツラ、イチイ
2群 高木類 成長速度が比較的速く、亜高木層を形成する樹種群	将来的に 概ね10m程度	シウリザクラ、エゾヤマザクラ、アズキナシ、アカシデ、ミズキ、アオダモ、ハシドイ、イヌエンジュ
3群 低木類 比較的大きくなる樹種群	将来的に 概ね2～3m程度	ヤマグワ、タラノキ、ノリウツギ、ミツバウツギ、ヤマウルシ、ウリノキ、ミヤマガマズミ、エゾニワトコ、ガマズミ、オオカメノキ、ツリバナ、マユミ
4群 小型低木類 樹高が2m以下の樹種群	将来的に 概ね1～1.5m程度	ミヤマイボタ、エゾアジサイ、エゾヤマハギ、コマユミ、クロウスゴ